



勝山の学舎

前橋市立勝山小学校
学校通信
第4号
令和元年6月5日

命を大切にできる勝山っ子に!

全校集会講話より

今日は、「命」について、お話をします。

皆さんは、日頃、「命」について考える事はあるでしょうか？

おそらく皆さんは「健康」で「元気」なので、日頃から常に「命」について考える事は少ないのかと思います。

先生自身も、毎日、「命」の大切さについて、考えられているかという、そうではありません。自分が、小学生や中学生の時に、「おじいさん」や「おばあさん」の死に直面し、「命」について考えさせられました。

また、先生にとって、とても辛く、とても悲しい、命に関わる出来事が、おとしにありました。それは、いつでも一緒に過ごした、ペット、犬の死です。生まれて2ヶ月の時から、約19年間、一緒に過ごしました。犬ですが、先生にとっては大切な家族の一員でした。犬の19歳というのは、人間では、ほぼ100歳です。多少の病気もありましたが、ほぼ、老衰だったと思います。

19年間、いつでも一緒に、いつも家族を元気付けてくれた、本当に大切な存在でした。それだけに、ショックは大きく、約2年経った今でも、悲しい気持ちになってしまうこともあります。今でも、夢でもいいので、会いたいと思います。

この悲しく辛い経験で、「命」について沢山考えさせられました。自分にとって大切な存在が、この世からいなくなってしまうことで、「命」の大切さを考えさせられることが多いのかもしれない。

「命」について、考えないということは、ある意味、健康で、不幸なこともなく、毎日が充実できている証であり、決して悪いことではないのかもしれない。

ただ、皆さんも「命」が大切なことは、十分に分かっていると思います。時には、自分や家族、友達のことを思い浮かべ、「命」の大切さを考えることも必要なのだと思います。

そこで、「命」はなぜ大切なのでしょう？ 改めて、聞かれると、どう答えればいいのでしょうか？ 先生にとっても難しいことですが、先生なりに考えてみました。

- ① 生きていれば、辛いこともあるけど、楽しいことも沢山ある。できるだけ、長く生きて、沢山のことをしたい。そのためには、命が大切です。
- ② 今は、新しい家族・犬と生活しています。とても、かわいく、元気付けてくれる大切な家族です。でも、死んでしまった前の犬のことは忘れられません。新しい犬は大切な家族ではあるけれど、前の犬の代わりにはなれません。人や動物など、この世に命を授かったものは、誰一人同じ人や動物がいなく、かけがえのない存在であり、代わりは絶対になく、世界に一人しかいないのです。そういう意味で大切です。
- ③ 犬が死んでしまった時、いけないことですが、自分も生きていく気力がなくなりました。それだけ、大切な存在でした。一人の存在は、家族や友達などにとって、いなくてはいけない、かけがえのない存在であり、とても大切です。

他にも「命」の大切な理由はあると思います。ぜひ、皆さんも考えてみてください。

そして、自分の「命」、家族や友達などの「命」を、今まで以上に大切にするために、「自分が何をすべきか、また、何をしてはいけないか」を考えて、行動できるといいですね。

その一例として、「命」の大切さをしっかりと考えられる、皆さんの口から、「死ね」という言葉が、出てくることは絶対はないと信じています。その他は、それぞれに考え、自分や周りの人達の命を大切に作る行動を心がけていきましょう。

「町探検・社会科見学」

2,3年生が生活科・社会科の学習で地域から学んでいます！



5月に入り、各学年において校外にでかけての学習がスタートしています。2年生は町探検で、校区の公園や神社などに出かけて、花を観察して春を感じたり、道路の安全な歩き方や渡り方を確認したりしています。2年生になり、学年が一つ上がり、お兄さんお姉さんになり、ともしっかりとした態度で、学習に臨んで

いました。3年生は社会科の学習として、地域の寺社や町並み、駅、等の様々な場所を見学し、気付いたことを一生懸命に記録し、まとめる学習に取り組みました。3年生になり、中学年という自覚をもって、とても意欲的でしっかりとした態度で学習に臨みました。学校外での学習で、安全にしっかり行動できる姿に、子ども達の成長を感じます。今後も、子ども達が地域に学び地域を大切にできるよう支援していきたいと思います。当日は、子ども達の安全のため、ボランティアとしてご参加くださった保護者の皆様、大変ありがとうございました。

「体育集会・音楽集会」

リーダーとして、高学年の子ども達が頑張っています！

委員会や各種集会をはじめ学校生活の様々な場面で、高学年の子ども達が、学校のリーダーとしてしっかり頑張らなくてはという気持ちを持ち、よきモデルとしての立派な姿を見せてくれています。そのおかげで、低学年や中学年の子ども達もお兄さんお姉さんを見習って、しっかりと頑張っています。



高学年の子ども達が学校をととてもよい方向に引っ張ってくれる理想的な学校です。この素晴らしい勝山っ子と共に、全員が居心地のよい、成長し合える学校を目指していきたいと思います。

「ふれあいのびゆくこどものつどい」

ボランティアでも頑張りました！

5月26日（日）の午前中に、総社公民館を会場に「総社地区ふれあいのびゆくこどものつどい」が開催されました。例年多くの子どもたちが参加し、飲食をしたり、的当てやボールすくいをしたりして楽しい一時を過ごしています。この「つどい」の目的は、『前橋の子どもを明るく育てる活動の一環として、市内全地区でつどいを開催し、家庭・学校・地域の連携の大切さと、子ども達を地域で育てるという気運を醸成する。』とあります。お客さんという形で参加することにも、地域の方との交流という点で意義があると思います。しかし、ボランティアとして運営側で参加することは、地域の方々とのより深い交流を通して、様々な経験を基に多くの学びや成長を促してくれると考えます。そこで、昨年度より勝山小学校の子どもたちもボランティアという形で参加しています。内容としては、PTA文化部の皆様が「福祉体験」のブースを担当してくださっており、そのお手伝いです。高学年の児童を募ったところ、児童19名が当日ボランティアとして参加してくれました。すべての子ども達が生き生きと活動し、「楽しかった」という感想を話してくれました。



積極的で真面目に取り組める勝山小学校の子どもたちだからこそ、主体的にに参加し多くのことを感じ・学ぶことができました。勝山小学校の地区は、様々な形で地域の方々が子どもたちを支えてくださっている、素晴らしい学区であると思います。今後も地域の様々な行事に積極的に参加し、地域の方とたくさんかわり、多くの経験を通して子どもたちが成長していけることを願っています。

保護者の皆様への確認とお願い

5月20日（月）に実施しました、「引き渡し訓練」では大変お世話になりありがとうございました。予定していた時間通りにすべてを実施することができました。今後、災害や事件等が起こり、保護者の皆様を迎えにきていただくことがないことが一番ですが、万が一の際は、今回の訓練を基にお迎え等をお願いいたします。

また、児童や幼児等にかかわる様々な事件・事故が起きている昨今、子ども達の安全を第一に考え学校としてえも対応していきたいと思います。是非、今まで以上に地域においても子ども達の安全のための見守り等に、ご協力くださいますようお願いいたします。

